

平成 29 年 12 月 28 日

北見駅進入中に A T S スイッチを「切」とした事象について

平成 29 年 12 月 21 日、石北線 北見駅進入中に旭川 15 時 37 分発 北見行き 特快きたみの運転士が、停止に向けたブレーキを扱い減速した後、A T S（※1）の警報（※2）に対して確認扱い（※3）を行いました。その後、本来駅停止後にA T Sスイッチを「切」とすべきところ、停止前に「切」としたことが判明しました。

1. 発生日時 平成 29 年 12 月 21 日（木）18 時 58 分頃

2. 発生区間 石北線 北見駅構内

3. 列車名 旭川 15 時 37 分発 北見行き 特快きたみ（キハ 54 形、1 両）
定員：74 名、乗車：約 40 名
※当事象によるお客様のけがはありません。

4. 判明経緯 12 月 21 日 18 時 05 分頃、当該運転士が石北線 生田原駅を予定より 30 秒早く発車した事象があり、車両のデータ解析を行っていたところ、本事象が判明しました。なお、お客様の乗り遅れはありませんでした。

5. その他

- ・A T Sスイッチを「切」としてから停止するまでにA T Sが動作する箇所はありませんでした。
- ・当該運転士が、以前にも終着駅及び折返し駅進入の際に同様の事象を行っていたことも判明しました。

※1 A T S（Automatic Train Stop）…自動列車停止装置

※2 誤って北見駅から網走方面に列車が出発しないように運転士に知らせる警報

※3 ブレーキを扱いながら確認ボタンを押す行為